

物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

事例番号 332

発生場所	エレベーター	精神・意識障害の有無	リスク C. 不適切な環境設定・維持管理不足によるリスク
発生場所 (その他)		無	
関連したもの	車椅子、エレベーター、溝	発生内容の分類	
		落下物	

発生内容

ものの落下

概要

患者を車いすで搬送中、エレベーターに乗った。当該病棟と思って後進する形で降りたが、実際は違う病棟であったため、再度エレベーターに乗り込もうとした。車いすの前輪が後進から前進に変わったところで、エレベーターと床の隙間に落ちた。一時的に動けなくなったが、隙間は浅かったためすぐに持ち上がり、患者がエレベーターのドアに挟まれることもなく済んだ。患者には影響はなかったが、怖い思いをさせてしまった。

要因

・エレベーターと床の間に隙間がある。 ・隙間があることを知らなかった。 ・車いすが後進から前進に変わる際、前輪が回転することのイメージができていなかった。

対策

・エレベーターと床の隙間（3 cm）を埋めることは不可能であったため、院内全ての車いすの前輪のタイヤの幅を4 cmの太いタイヤに変更し、隙間に落ちないようにした。

参照

